

みやまの風



令和8年3月16日(月)発行

園長 津田 将美

寄 松田

カラー版はHPで…幼稚園HPのQRコードです↑

卒園式にむけて…みんなで…

3月に入ると、園では一気に卒園、進級モードに入ります。子どもたちは新しい生活への不安を抱えながらも、大好きな仲間のために、できることをひとつひとつ実行していきながら期待も大きくふくらませているところです。

3月6日に、お別れ会がありました。前日にはみんなでゼリーを作り、この日は「くるまつくん」でお買い物をした後、クッキーづくりをすることになっていました。

くるまつくんでは、本物のお金を使った本物のお買い物です。事前に必要な材料を相談し、かかるお金を考えての生きた学びでした。

買い物を終えた子どもたちの表情は、どこか誇らしげでした。

クッキーづくりでは、子どもたち一人ひとりの願いが込められた楽しい形のクッキーが作られていました。

「こんな活動をどれだけ積み重ねてきたんだろう…」
今までの園生活を振り返ると笑みもこぼれそうですがそれでも一抹の寂しさを感じます。その寂しさも子どもたちの笑顔に隅に追いやられ、楽しい雰囲気でお別れ会は進んでいきました。



3月11日には、卒園式の予行練習がありました。儀式的行事ということもあり、それなりの厳かな雰囲気です。予行練習は進められていきましたが、儀式という枠にはめこめられることなく、子どもたち一人ひとりの良さが発揮されているように感じました。

予行練習が無事に終了した振り返りの時間のやりとりです。

「きのうより、もっと声が出ていて、みんなよかったよ！」(年長さん)

「すすも、みんなも、声がちゃんと出ていたよ。」(年中さん)

「みんな、歌がとっても上手だったよ！」(年少さん)

認め合う声はつながります。

「みんなのおうちまで聞こえるぐらい、大きな声が出ていたよ。」

「でも、ドックランまでは聞こえないよ。」

「じゃあ、明日の練習では、ドックランまで聞こえるぐらいがんばろう！」

予行練習という雰囲気の中、いつも以上の緊張感があったようですが、そんな中でも認め合い、支え合い、励まし合う姿に、今までの成長を振り返らずにはいられませんでした。

明日はいよいよ、卒園式本番。たった一人の年長組として園のみんな(子どもたちも職員も)を笑顔に幸せにしてくれた涼菜さんのために、寄幼稚園全員で素敵な式を創造してあげたいと思います。

三学期の風景

収穫のよろこび

今年度も、園の畑で採れた野菜を新鮮なままおいしくいただきました。1月には思わぬ収穫となったキャベツをみそ汁とコールスローにしました。松田幼稚園の栄養士、辻村先生が来てくださり、おいしく作るコツを教わりながら、季節の味を満喫しました。



おいしすぎて、グイッと飲み干す



南足柄市運動公園

目的を考えながら、自分たちで行く場所を決める園外保育は、正に子どもたちの成長の場です。初めて行った南足柄市運動公園は、たまたま松田幼稚園ともいっしょになり、楽しい一日を過ごすことができました。

1月でしたが、あたたかい日差しを受けながら、おいしくお弁当をいただきました。

空からのプレゼント

大人はと〜っても困った大雪でしたが、子どもたちにとっては、素敵な空からのプレゼントとなりました。久しぶりの積雪に、やわらかい頭の中でイメージが限りなく広がり、様々な遊びを創造していました。

雪はいずれ溶けてなくなりますが、豊かに遊んだ思い出は、いつまでも心の中に残っています。



ろうばい園にて ～松幼との交流～

今年度も、松田幼稚園の年長さんを招いてのろうばい園見学に出かけました。ホームタウンへ招待したことにより、子どもたちは張り切って案内をしていました。

寄を知らしてもらったいい機会となり、また寄幼稚園の子どもたちの前向きさ、自信を大きくする場ともなりました。

今年度も、保護者の皆様、地域の皆様には大変お世話になりました。いつも寄幼稚園をあたたく見守ってくださり、本当にありがとうございました。子どもたちの成長をお伝えしてきた園だよりも、この号をもちまして、今年度の最終号となります。今後とも、寄幼稚園の子どもたち、そして職員の良き応援団でいてください。感謝の気持ちを込めて…。 園長